
レグラム・オンライン

リモコン(黒)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

レグラム・オンライン

【Nコード】

N2818BA

【作者名】

リモコン（黒）

【あらすじ】

VRMMOのゲームが珍しくもないこの世の中、俺は初めてVRMMOのゲームを買うことができた。期待に満ちた起動。

しかし、俺を待っていたのはデスゲームの世界だった——
こんなの聞いていないぞっ！？
生産スキルを選んでしまった彰人は、この世界で何を起こすのか…

どこにでもある日常（前書き）

開いてくださって、ありがとうございます。

自分の気が向くままに書きました。

急展開など、注意してください。

どこにでもある日常

「それじゃ、入ってくるわね。
戸締りに気をつけるのよ？」

「子供じゃないんだからわかってるよ、母さん。」

まったく、出かけるたびにこんなことを言われてたら

流石に少し、いらつきを感じる。

しかし、それで切れるほど子供ではない。

これは俺のことを思っ言ってくれていることが分かっているからだ。

「本当、ごめんね。」

どうしても断りきれなかったのよ。
明日には帰ってくるからね。」

「うん、近所づきあいって大事だからな。
でも旅行か…おみあげよろしく。」

「わかった、とびつきりおいしいもの買ってくるから
期待して待っててね！」

そう言い残し、元気よく部屋を飛び出していった。

もうすぐ40代だというのに、何とも元気な人だ。

どんなものを買ってくれるのだろう、と期待を寄せつつ

俺は自分の娯楽を楽しむことしよう。

娯楽、というのも今日発売のゲームが届いているんだ。

その名もレグラム・オンラインという新型ゲーム。

オンライン、という名の通り多人数参加型ゲームなんだが

それよりも特徴的なのが、VRというものだ。

電気信号をいじり、まさにその世界にいるかのような感覚を味わわせてくれる。

そこでは、たとえば体重が100を超えていようと、

100メートルを10秒で走ることだって可能になる。

まあ、実際には頭がすっぽり入るヘルメットのようなものをかぶってるだけなんだが。

そんなわけで最近のゲームといったらVR方式の物が多い。

母さんが外へ出たことを確認すると、

先ほどの言葉を思い出した俺は鍵をかけて、自分の部屋へと急いだ。

「おお、こいつがレグラム・オンラインか……」

amazonから届いた段ボールの中を見ると、

思ったより大きなパッケージが出てきた。

パッケージには可愛いらしい女の子と凛々しい男の子が

二人で武器を構えていた。

ファンタジーといったところに、少しだけ期待が膨らむ。

実は、VR方式のゲームをするのはこれが初めてなんだ。

今まで友達に話しだけは聞いたことはあったが、

俺が夢見ていた二次元へ行くのとは少し違うようだ、残念と言わざるを得ない。

時計を見ると時刻は8時30分、朝ご飯はすませておいた。

「いよいよ、か……」

ヘルメット型の機械にソフトを入れ、

ついに初めての起動をした。

ウィーンと旧世代のゲーム機みたいな音がする。

段々と意識が朦朧としてきた――

どこにでもある日常（後書き）

どうでしょうか。

文法的批判など、お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2818ba/>

レグラム・オンライン

2012年1月7日04時49分発行